



JDBC Proxy Server インストールガイド

■ ごあいさつ

本書は、DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server のインストールの手順について記載しております。
ご使用の際にお読みください。

なお、表示画面などは操作の一例として掲載しているものです。お客様のご使用環境によっては、
画面に表示される内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

■ 版權 / ご注意

- ・ 本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で複写転載することを禁じます。
- ・ 本書に掲載の内容および製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載もれ、乱丁、
落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

■ 本書の表記方法について

	ハードウェアやソフトウェアの損害やエラーの発生を防止するために、必ず守っていただきたい情報を記載しています。
	特定のテーマに関する補足情報を記載しています。

メニュー、アイコン、 ボタン、ウィンドウ、 タブ	[] で囲んで表記します。 (例) [OK] ボタンをクリックします。
キーボード上のキー	< > で囲んで表記します。 (例) キーボードの < Tab > キーを押します。
参照先	『 』 で囲んで表記します。 (例) 『 3.2 パスワードを変更する 』 (P5) を参照してください。

目次

■ ごあいさつ.....	i
■ 版權 / ご注意.....	i
■ 本書の表記方法について.....	i

目次 ii

・ 第 1 章 インストール手順.....	4
1.1 はじめに	4
.1 DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server とは.....	4
.2 使用可能なアダプター一覧.....	4
1.2 インストール.....	5
.1 インストールにあたって.....	5
.2 JDBC Proxy Serverのインストール.....	5
1.3 アンインストール.....	10
.1 アンインストールにあたって.....	10
.2 JDBC Proxy Serverのアンインストール	11

第 1 章

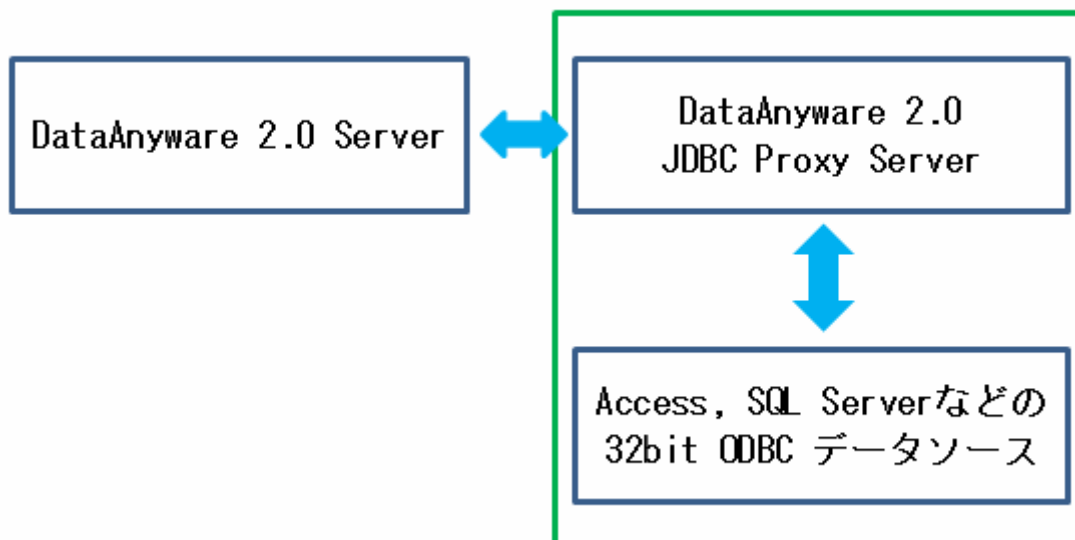
インストール手順

・ 第 1 章 インストール手順

1.1 はじめに

.1 DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server とは

DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server(以下、JDBC Proxy Server)は、DataAnyware 2.0 から Windows 環境上に構築された ODBC データソースへ接続を行うためのツールです。



Windows x64 環境にインストールした場合、JDBC Proxy Server は 32bit アプリケーションとして動作します。

.2 使用可能なアダプター一覧

JDBC Proxy Server を使用して ODBC データソースを参照できるアダプタは以下となります。

- ・ Access アダプタ
- ・ SQL Server (ODBC) アダプタ
- ・ ODBC アダプタ



32bit の ODBC データソースのみをサポートします。



各アダプタにおける設定方法については、アダプタのヘルプ「グローバルリソースのプロパティ」ページをご覧ください。

1.2 インストール

.1 インストールにあたって

DataAnyware 2.0 から接続を行う ODBC データソースが存在する環境にインストールしてください。

また、インストールする環境に JDBC Proxy Server がすでにインストール済みの場合、既存の JDBC Proxy Server への上書きインストールは行わず、必ず既存の JDBC Proxy Server をアンインストール後に、新規インストールを行ってください。



インストールフォルダに、以下の文字を使用する事はできません。
「;」(半角セミコロン)、「'」(半角シングルクォート)、「~」半角チルダ

.2 JDBC Proxy Serverのインストール

インストールメディアもしくはサポートサイトからダウンロードした、「JDBCProxyServer_32bit.exe」を実行してインストーラを起動します。

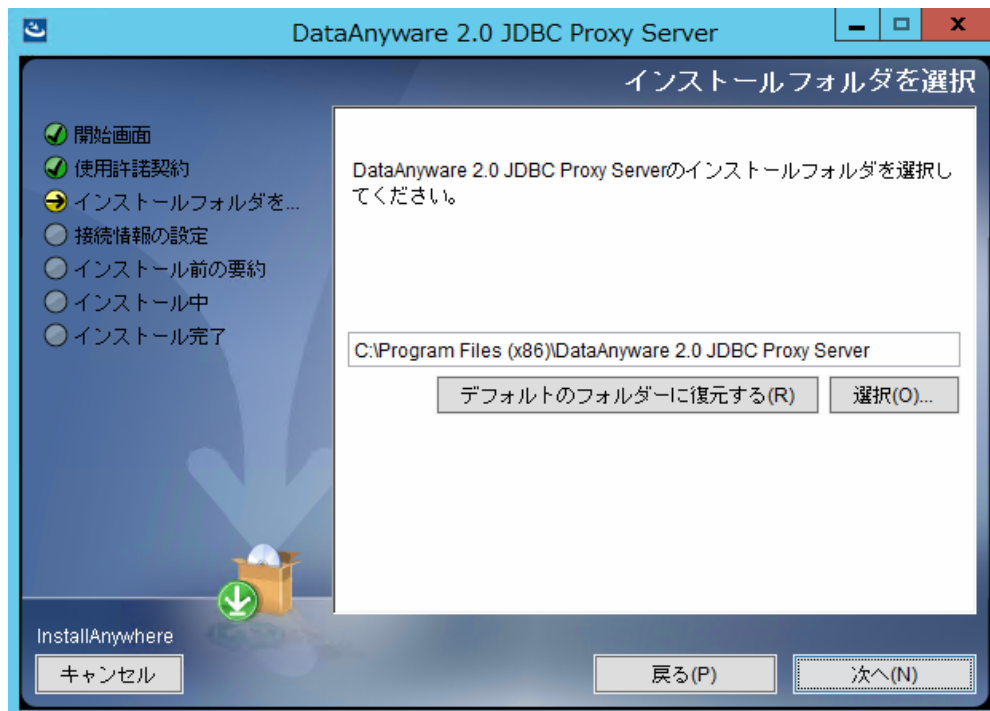
- 1 JDBC Proxy Server をインストールするための [開始画面] が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。



- 2 [使用許諾契約] 画面が表示されます。JDBC Proxy Server のライセンス契約書の内容が表示されます。内容確認後、[使用許諾契約の条項に同意する]を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



- 3 [インストールフォルダを選択] 画面が表示されます。JDBC Proxy Server のインストール場所を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



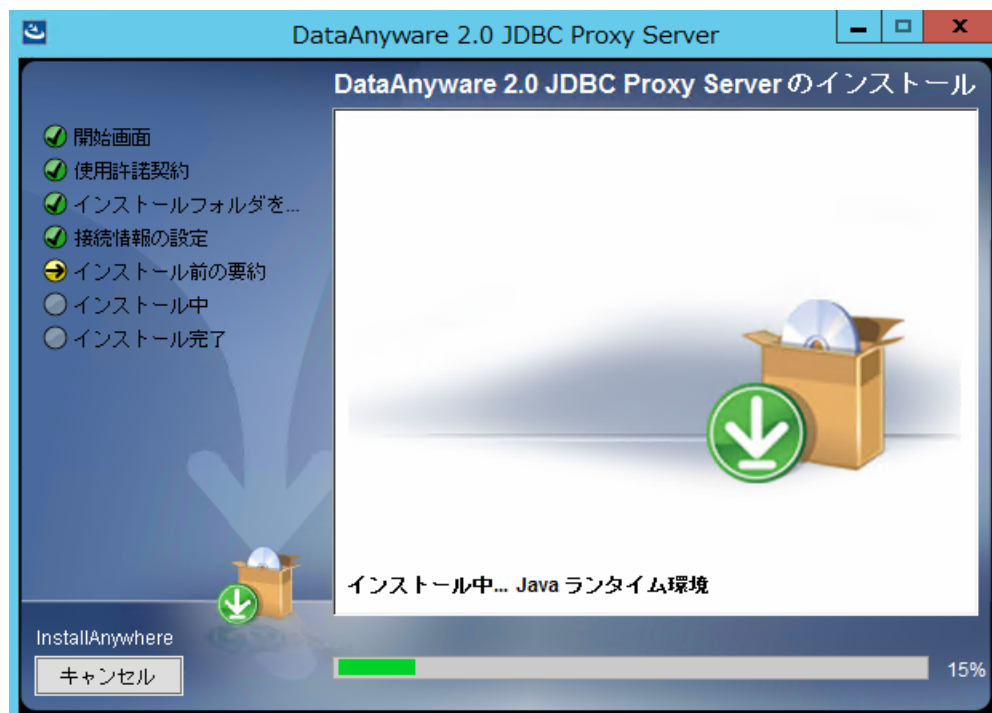
- 4 [接続情報の設定] 画面が表示されます。JDBC Proxy Server が使用するポート番号を指定し、[次へ] ボタンをクリックします。



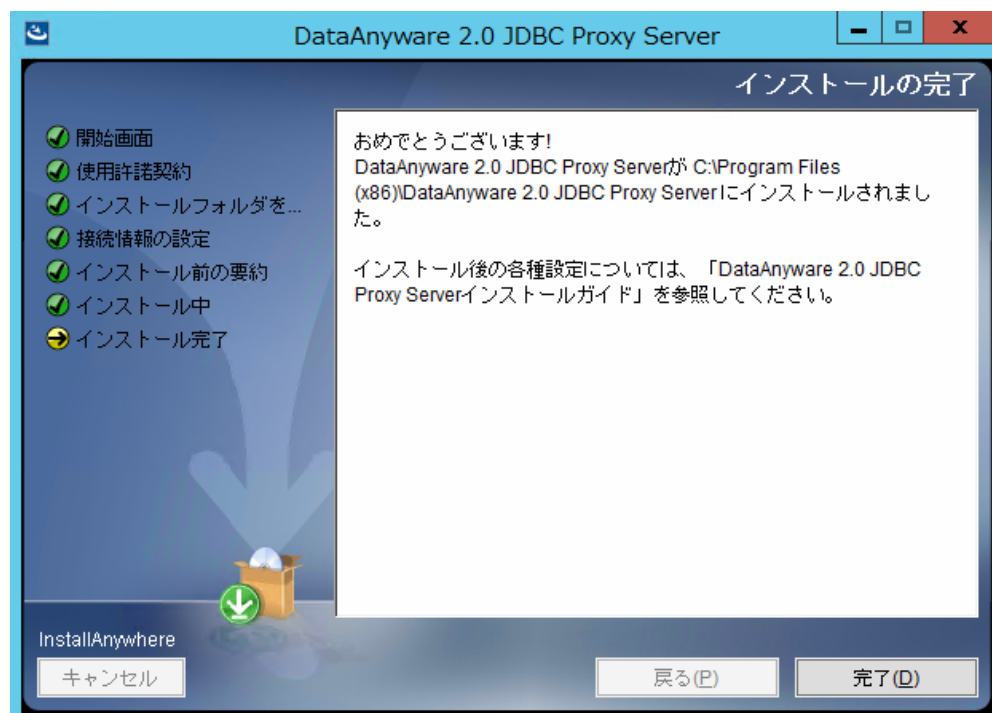
- 5 [インストール前の要約] 画面が表示されます。設定内容を確認し、[インストール] ボタンをクリックします。



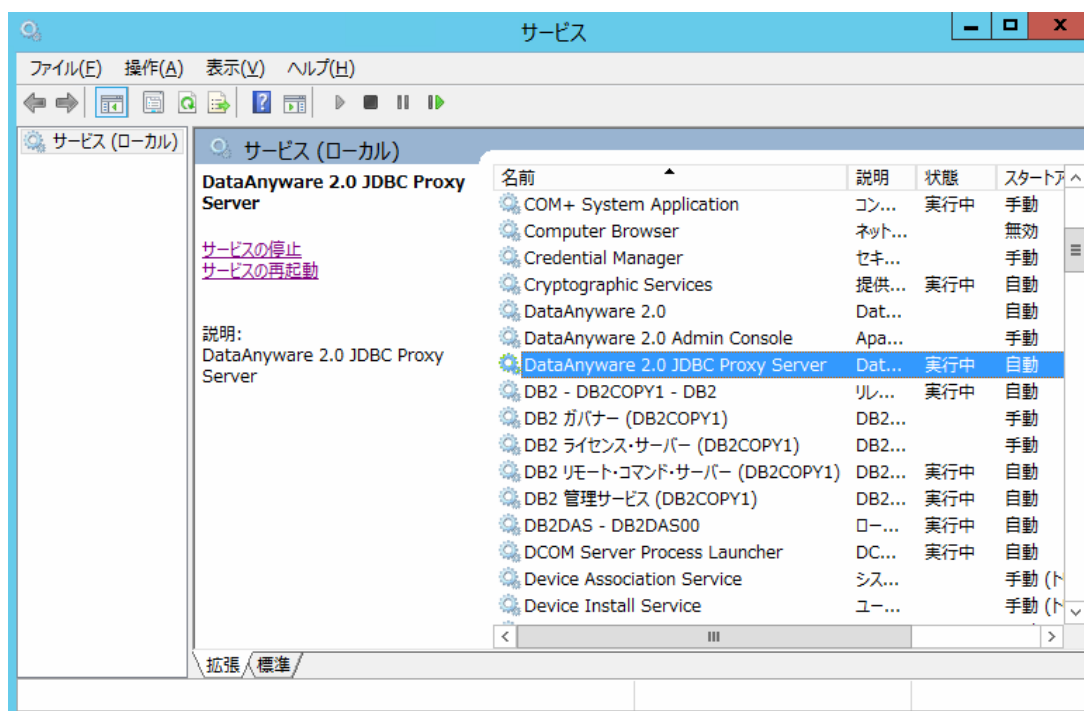
- 6 [DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server のインストール] 画面が表示されます。



- 7 [インストールの完了] 画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックし、インストールを完了します。



- 8 コントロールパネルの [管理ツール] - [サービス] より、JDBC Proxy Server のサービスが追加されていることを確認してください。



デフォルトでは、スタートアップの種類が [自動] で設定されているため、インストール後に自動で起動します。

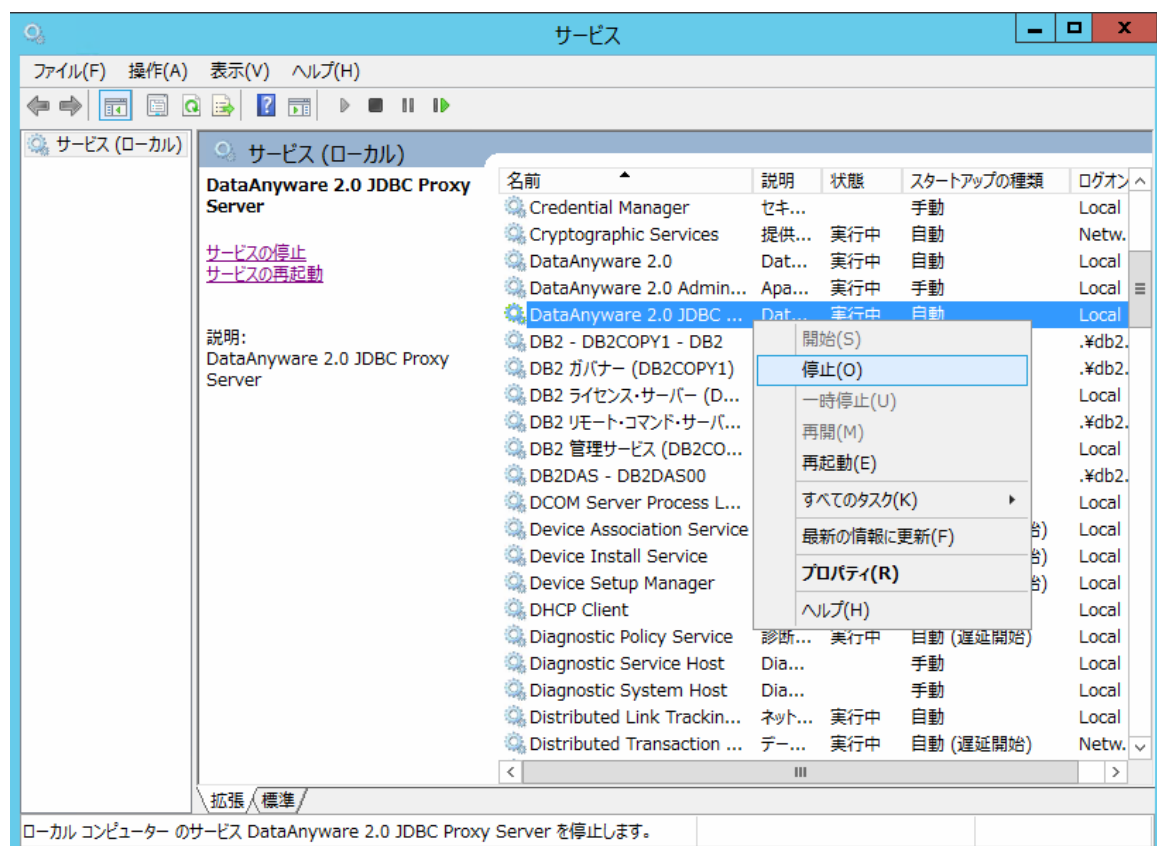
1.3 アンインストール

1.1 アンインストールにあたって

JDBC Proxy Server をアンインストールするためには、事前に JDBC Proxy Server、管理コンソール、Server をそれぞれ停止する必要があります。

Windows のコントロールパネルより、[管理ツール] - [サービス] の順に起動します。

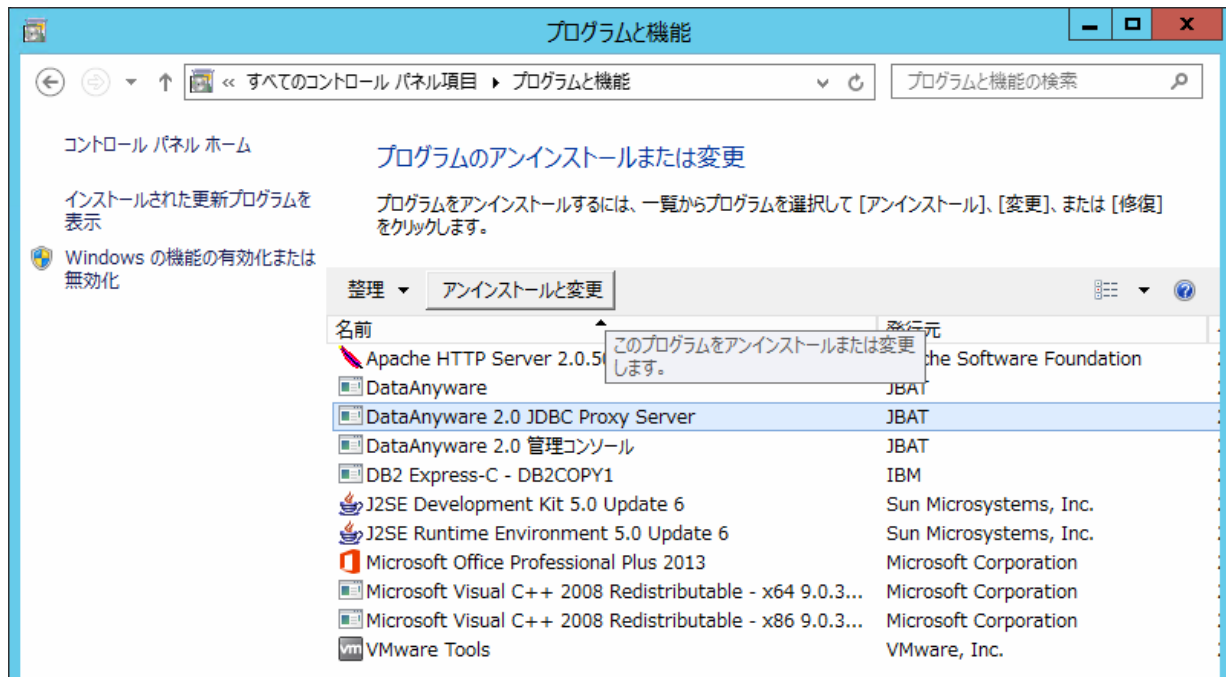
サービスの一覧より [DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server]、[DataAnyware 2.0 Admin Console]、[DataAnyware 2.0] をそれぞれ選択し、停止します。



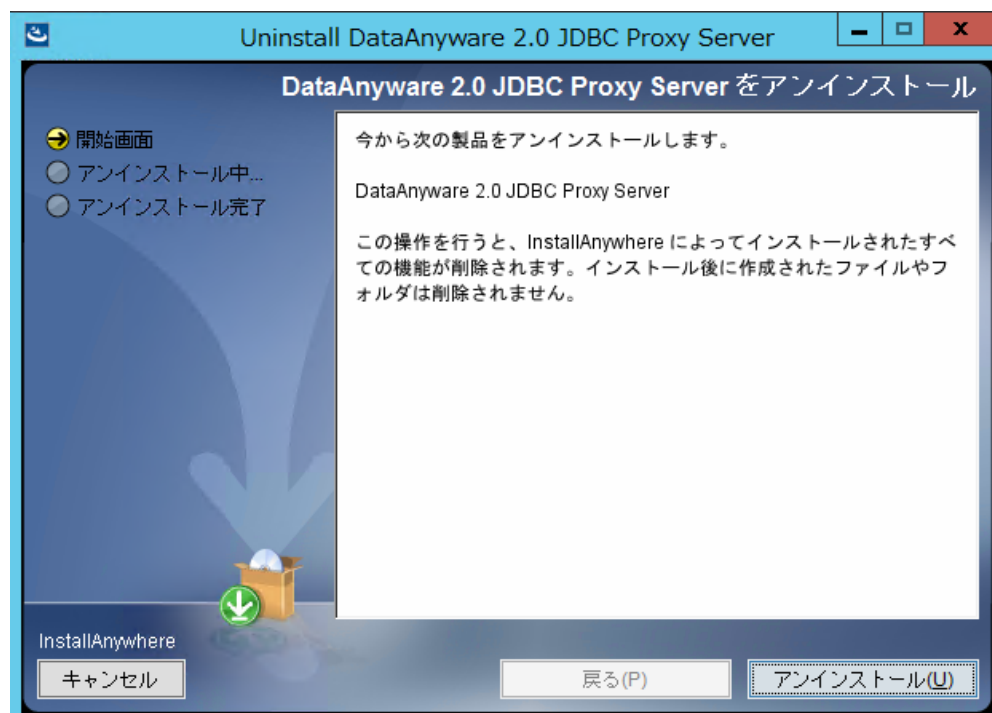
.2 JDBC Proxy Serverのアンインストール

Windows のコントロールパネルより、[プログラムと機能] を起動します。

[DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Server] を選択し、[アンインストールと変更] をクリックします。



- 1 JDBC Proxy Server をアンインストールするための [開始画面] が表示されます。 [次へ] ボタンをクリックします。



- 2 [アンインストール中] 画面が表示されます。



- 3 [完了] ボタンをクリックしてアンインストールを終了します。



注意

削除されなかったディレクトリが存在する場合、内容を確認の上、手動で削除してください。

DataAnyware 2.0 JDBC Proxy Serverインストールガイド

第 1 版 2016 年 12 月 7 日

発行 JB アドバンスド・テクノロジー株式会社

〒212-8505 神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア西館 20 階

お問い合わせ 弊社ホームページより、お問い合わせください。

<http://www.jbat.co.jp/>

本書は著作権上の保護を受けており、本書の全部あるいは一部に関して、JB アドバンスド・テクノロジー株式会社からの文書による許諾を得ず、無断で複写、複製することは禁じられています。また、本書はユーザーへ通知することなく変更される場合があります。